

小木の子 われら

校 区 内
全 戸 回 覧

令和5年10月4日発行

やればできる

校長 高橋 高志

少し前の話になりますが、2学期の始業式で、子どもたちに次のような話をしました。

皆さんは、「やればできる」という言葉を聞いたことがありますか？

この言葉は、テレビであるタレントがよく使うので、聞いたことがある人も多いと思います。みなさんは、どんな意味だと思えますか？多くの方は、「がんばれば必ずいい結果が出せる」という意味だと思っています。でも実は、違うのです。本当は、「**がんばれば成長できる**」という意味なのです。皆さんも先生もそれぞれ得意なことや苦手なことがありますよね。だから、がんばっても、失敗したり、人に負けたり、期待した結果が出ないこともあると思います。大事なのはそこから学び、自分を成長させることなのです。

これから始まる2学期、皆さんはどんなことをがんばって、自分を成長させますか？今までよりもお家の人や地域の人にあいさつができるようになることも成長です。去年は歩いてしまったマラソン大会で、歩かずに最後まで走りきることも成長です。これまでは、勉強で分からないことをそのままにしていたけれど、「教えて」と言えるようになった…これも成長です。小木小学校には、**毎日、毎時間、自分の心・体・頭を成長させるチャンス**がたくさんあります。

「小木っ子なら、やればできる」皆さんの成長を楽しみにしています。

先日は、6年生が学校の代表として、佐渡市小学校親善陸上大会に参加してきました。

そこには、子どもたちが**全力で挑戦し、それまでの自分を超えようとする姿**がありました。他の子と競り合い自己記録を更新した子、名前をコールされたら大きな声で返事をした子、運動は苦手だけど逃げずに挑戦した子…全員の姿から、確かな成長を感じました。

2学期は、これからも様々な学習活動があります。**学校でも家庭でも、子どもたちの日々のがんばりや成長を見逃さず、子どもたちに伝え、価値づけていきたいもの**ですね。